

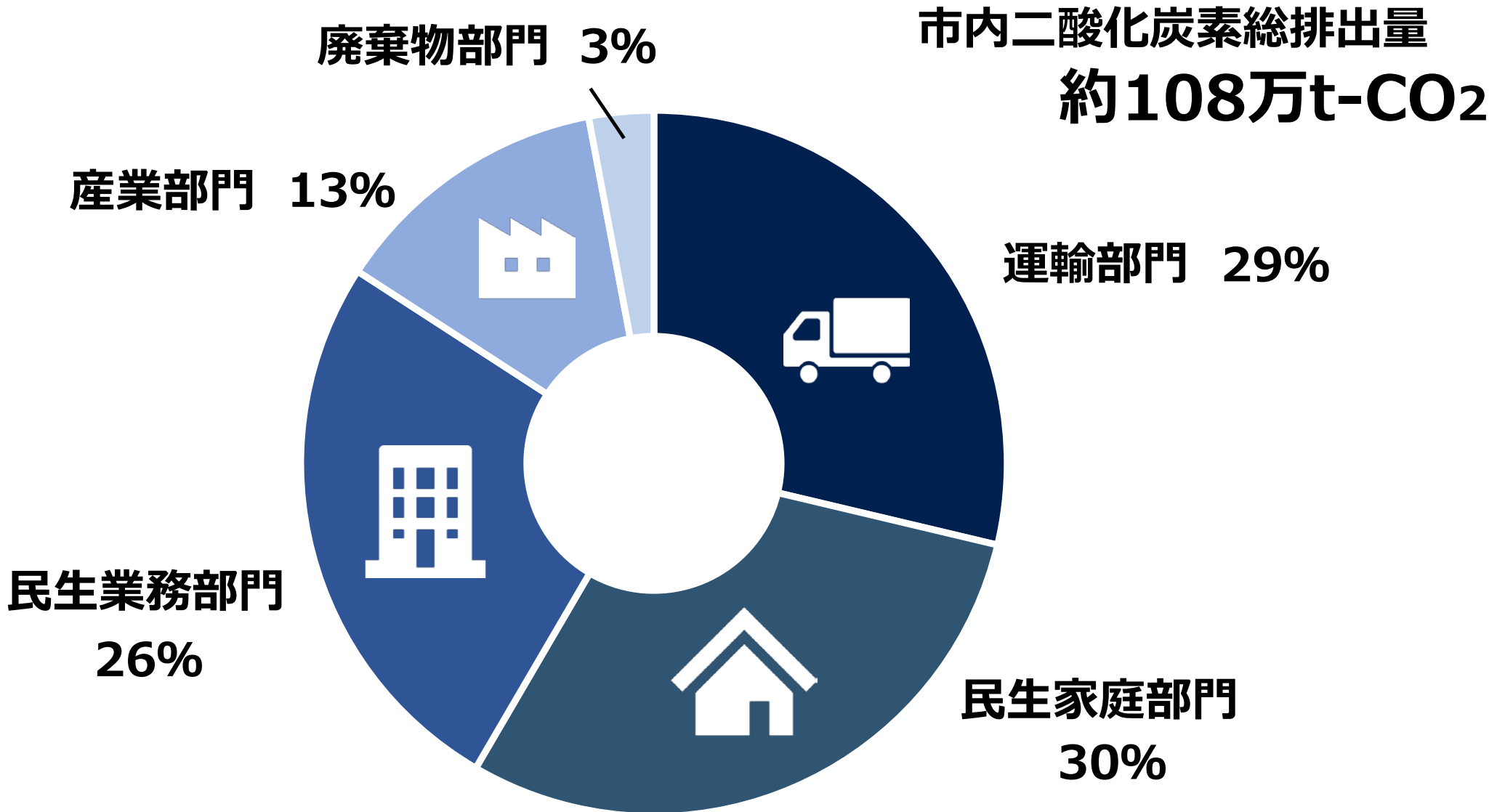
# 所沢市脱炭素経営ネットワーク会議（作業部会）

---

令和5年10月17日（火）



# 所沢市内の二酸化炭素排出量の現状について <2021年度（令和3年度）>



# 本会議の目的

市内の事業者が脱炭素を成長の機会と捉え、事業活動を脱炭素にシフトし、市域の二酸化炭素の排出量の削減を図る。

## STEP 01

### 発想の転換

脱炭素経営は「制約・コスト」  
から「成長の機会」へ

## STEP 02

### 脱炭素経営へのシフト

- ①知る  
…社会の潮流と自社の現状
- ②測る  
…CO2排出量と削減可能性
- ③減らす  
…削減計画の策定と実行

## STEP 03

### 経済と環境の好循環

経営のシフトが産業構造や  
社会経済の変革をもたらし、  
更なる大きな成長に

# 本会議のロードマップ（案）

## ①知る



### 情報収集

- ・セミナーの開催
- ・各業界の事例紹介



### アンケートの実施

脱炭素経営に関するアンケートを実施し、事業者の現状を共有します。

## ②測る



### CO2排出量の算定

- ・CO2可視化事業  
CO2可視化ソフト等を使用し、自社のCO2排出量を把握します。



### 省エネ診断の実施

省エネ診断を行い、自社の無駄なエネルギーを把握します。

## ③減らす



### 削減計画の策定

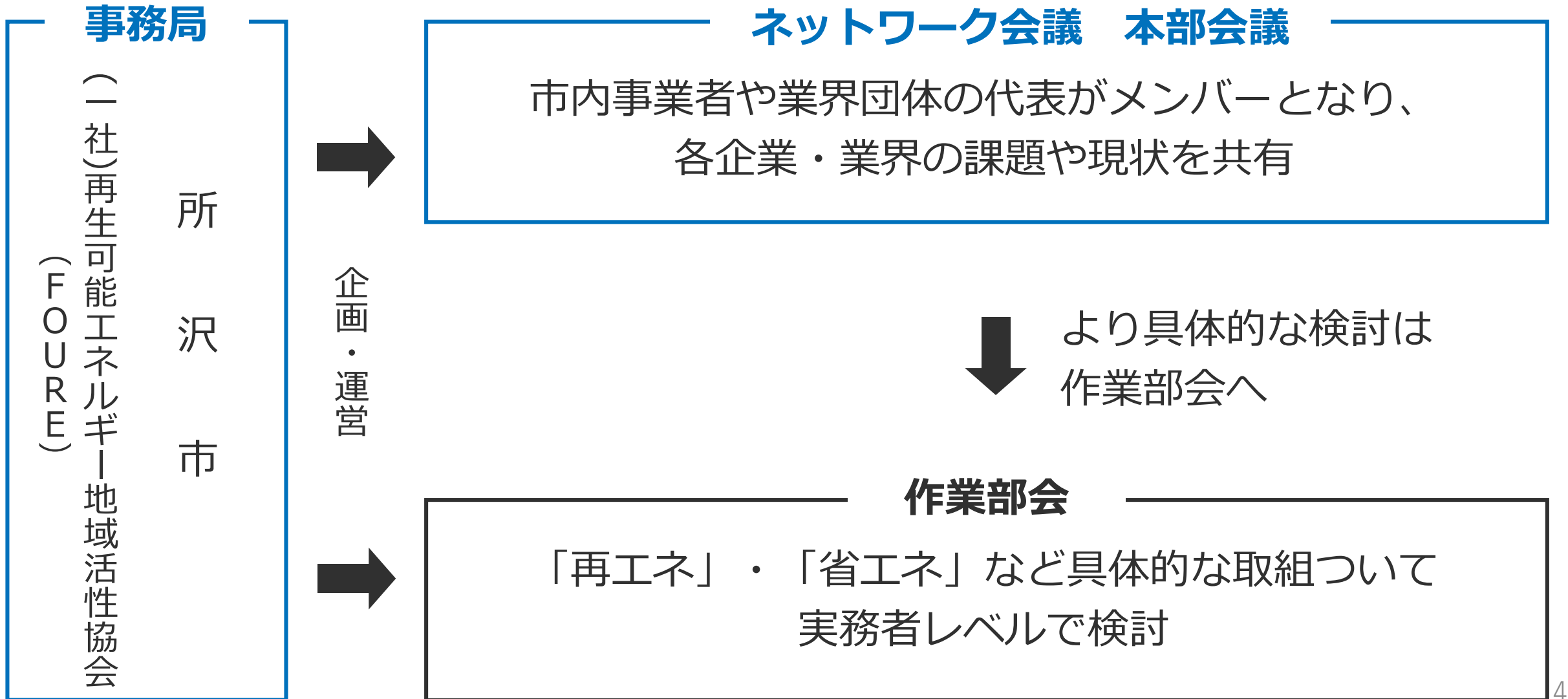
自社のCO2排出量の特徴を踏まえ、削減対策を検討し、計画を策定します。



### 削減対策の実行

- ①省エネ
- ②LED等の省エネ設備導入
- ③再エネ設備の導入

# 本会議の構成



# 本会議の活動期間

## 活動期間

2024年度末（令和6年度末）まで



活動期間終了後に実績をとりまとめ

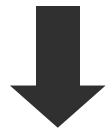


さらに市内事業者へ波及させる施策の展開

# 目標設定

## 定量的な目標

2030年度（令和12年度）までに温室効果ガス排出量を2013年度（平成25年度）比で**51%削減**



目標達成のために必要な、各部門ごとの2024年度末（令和6年度末）までの削減量（目安）は…

<2019年度（令和元年度）実績値>



民生業務部門

42%（20.6万t-CO<sub>2</sub>）

削減

14%削減



運輸部門

14%（4.5万t-CO<sub>2</sub>）

削減

2%削減



産業部門

34%（7.1万t-CO<sub>2</sub>）

削減

27%削減



# 目標設定

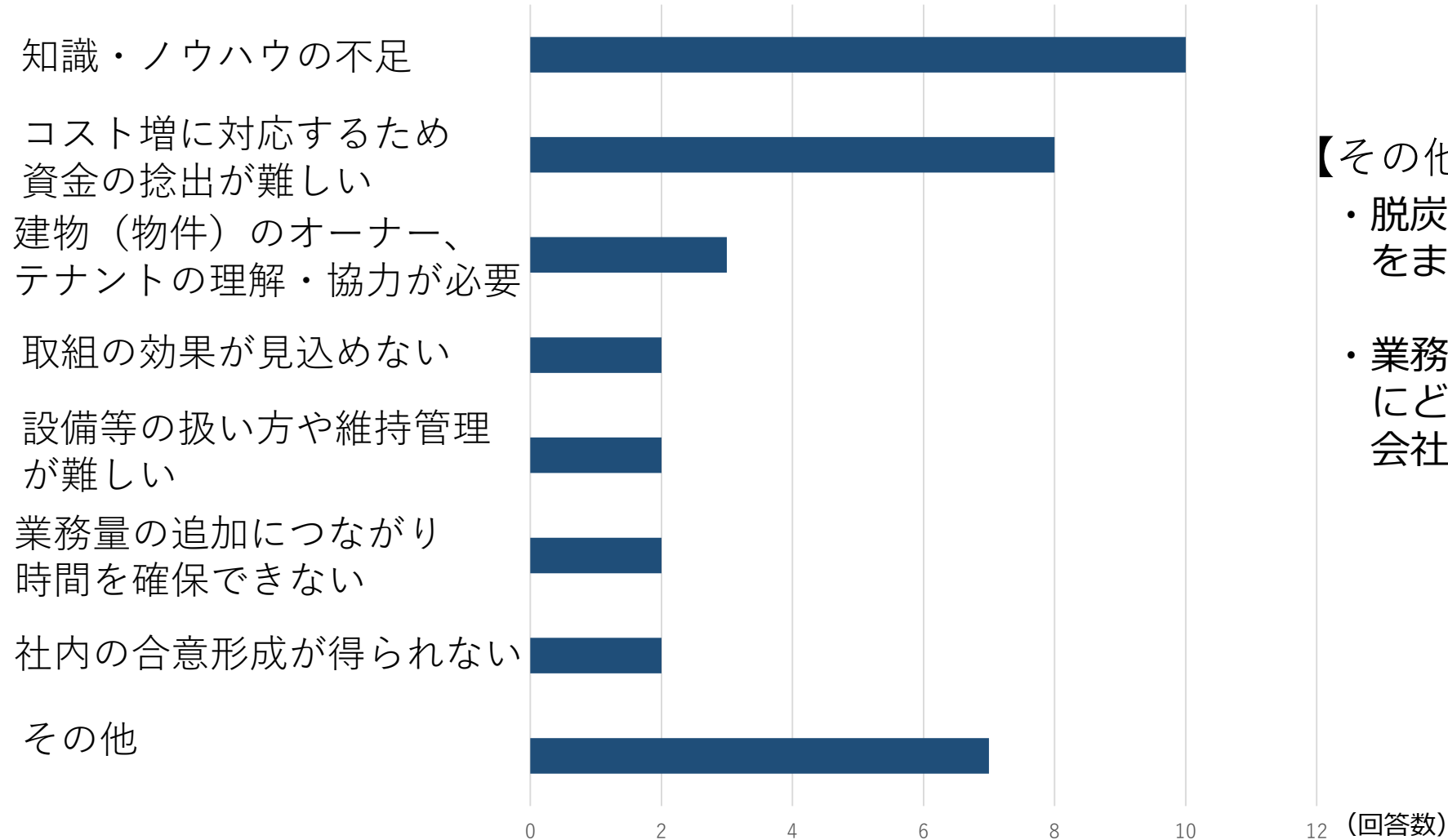
## 定性的な目標

- ・ 所沢市内の事業者が脱炭素経営にシフトし、市内の二酸化炭素排出量を削減すること
- ・ 個々で行うことが難しい脱炭素化に対して、所沢市内の事業者が最適な協力者と繋がることのできるネットワークの構築



# アンケート結果の共有（回答企業・団体数 = 19）

## 設問 1 脱炭素化に取り組む上での課題は何か。

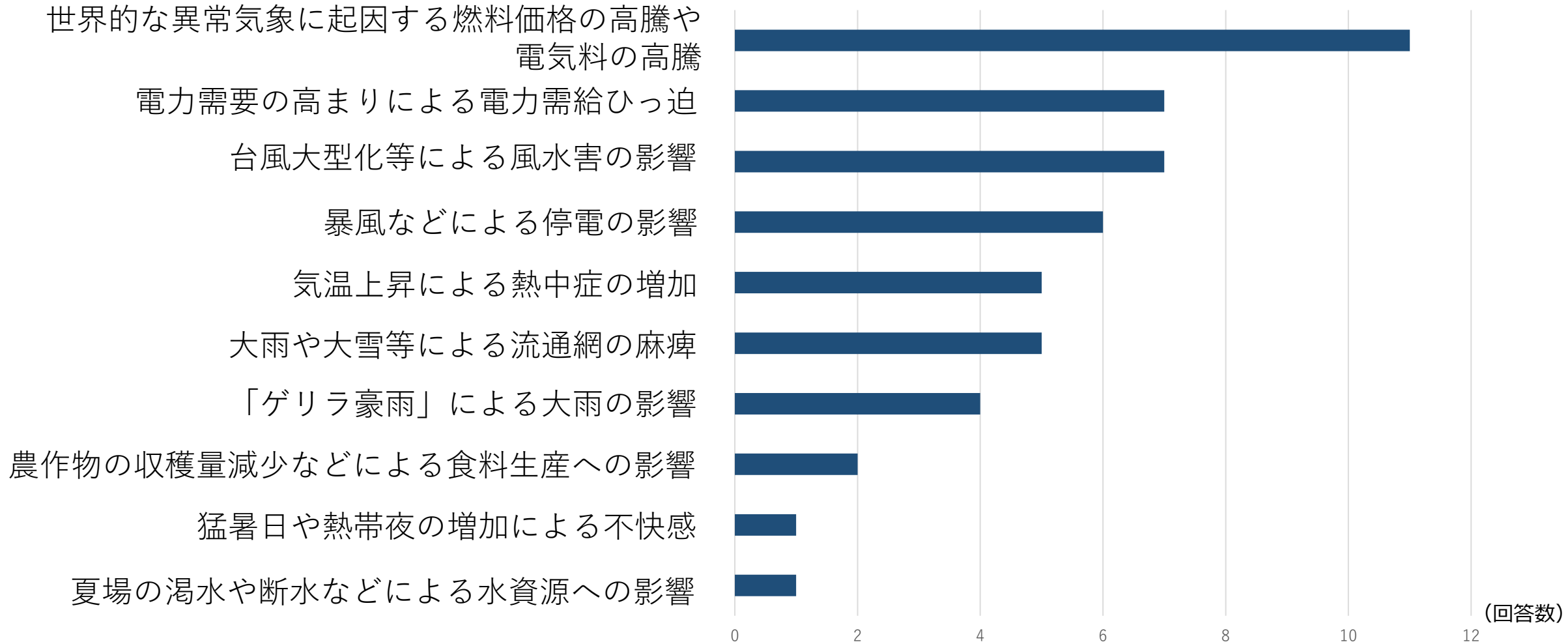


### 【その他】

- ・脱炭素化社会に向け、地域課題をまずは把握すること
- ・業務内の何を削減すれば脱炭素にどの程度貢献できているのか会社側から示す点が課題。

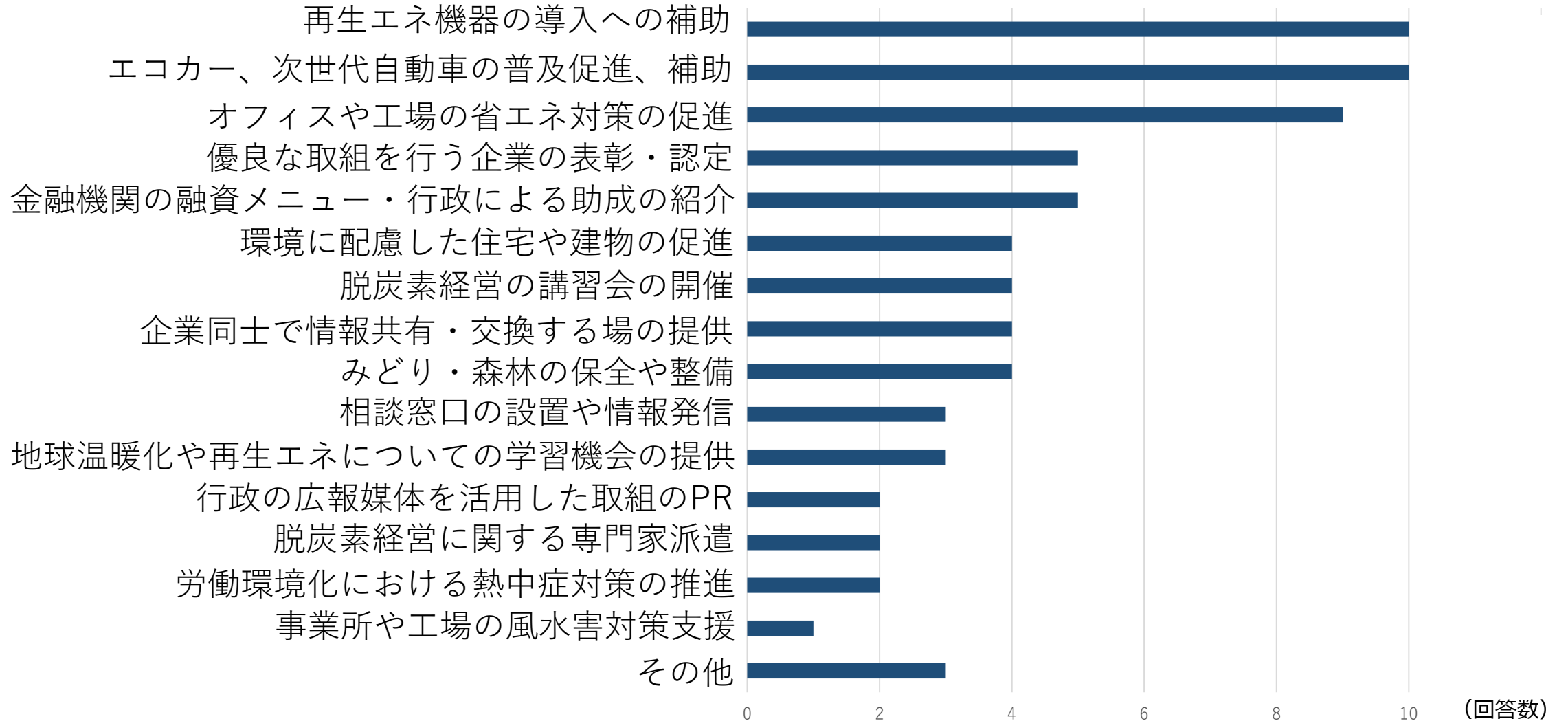
# アンケート結果の共有（回答企業・団体数 = 19）

## 設問2 気候変動による影響のうち、貴事業所・団体の存続における脅威は何か。



# アンケート結果の共有（回答企業・団体数 = 19）

## 設問3 市が推進すべきと考える支援策は何か。



# アンケート結果の共有

## 設問4 自由記述欄

- ・脱炭素社会の実現に向け、所沢市にどのような問題があるのかを提示していただき、その後に問題解決のために取り組むべき課題の整理をされた方がよいと思います。
- ・設備設置等が高額であることから、補助金が無ければ、拡充は非常に厳しいと考えています。
- ・経営陣の理解と脱炭素についての必要性の理解、国際的な動きや政府との動きに齟齬がないかなど、世界と日本の動きに敏感になる必要があります。  
また、その中でも脱炭素や環境経営には多額の資金が必要となることから、自己資金だけでなく、自治体からの補助金が重要。
- ・脱炭素という地球規模の問題を私事あるいは自分が勤める企業にも影響する問題であるという認識まで落とし込めていない点、前提となる知識の共有と話し合いの機会がない点が課題

# 所沢市脱炭素経営ネットワーク会議のスケジュール

	2023年（令和5年）					2024年（令和6年）		
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本部会議	8/8 ● 開催							3～4月 ● 開催
作業部会			10/17 ● 対面開催	← WEB上のプラットフォームを活用 →				3/8 ● 対面開催
			11/22 ● WEB会議			1/22 ● WEB会議		
セミナー		9/28 ● シンポジウム			12/11 ● セミナー		2月中旬 ● セミナー	
交流会				HP公開・募集期間			1/26 ● 開催	
市民フェスティバル		企画展示 内容調整	10/28-29 ● 出展準備 開催					
YOT-TOKO よっとこ			企画展示内容調整		11/22 ● 出展準備 イベント			
市民ギャラリー							企画展示内容調整	3/13～19 ● 掲示期間

## 概要

本部会議に参画する企業・団体だけでなく、広く市内事業者の実務者を加え、「エネルギー」「移動」等、テーマ毎に具体的な議論を行い、課題の洗い出し、共有、ソリューションを提示しながら、脱炭素経営にシフトするための手がかかりをつかむ場とする。

また、脱炭素経営に係るセミナーの開催、事業者同士が脱炭素経営についての課題や相談等を行う交流会を実施予定。

来年度については、自社のCO2排出量の可視化などの実証事業等の実施も検討。

## 今後の開催スケジュール（予定）



対面形式

第1回：10月17日（火）

【テーマ】 課題の共有・洗い出し

第2回：3月8日（金）

【テーマ】 来年度の体制、本部会議での報告事項



WEB形式

第1回：11月22日（水）

第2回：1月22日（月）

※テーマごとにアンケートを実施し、各業界が持つ課題、意見・要望を吸い上げ、ソリューションの提示を行う。

※各回のテーマについては、改めてご連絡します。



# セミナー等の開催

## ▼今後の開催スケジュール

### ●12月11日（月）14時30分～16時

【場所】市役所高層棟6階 604会議室及びWEBを予定

【内容】省エネ・節電の進め方、代表的な省エネ診断事例

【講師】一般社団法人省エネルギーセンター

### ●2月中旬

【場所】市役所会議室及びWEBを予定

【内容】CO<sub>2</sub>排出量の見える化から始まる脱炭素

【講師】e-dash株式会社

# 脱炭素経営ネットワーク交流会

## 概要

市内事業者と再生可能エネルギー・省エネ等に技術やノウハウを持つ企業とのネットワーク構築を図るため、交流会を実施予定。  
技術やノウハウを持つ企業等を多数紹介。

## 実施予定日時

日時：2024年（令和6年）1月26日（金） 14:00～16:00

場所：所沢市民文化センター ミューズ 第2展示室

# PR・啓発活動

## 概要

市内外で開催される各種イベント等でのパネル展示を行う。

- 環境への取組に関する企業PR  
→今後、出展希望者を募集します。

## 出展予定のイベント（予定）

- ・ 10月28日（土）・29日（日） 所沢市民フェスティバル
- ・ 12月下旬 所沢市観光情報・物産館YOT-TOKO  
クリスマスイベント
- ・ 3月初～中旬 市役所1階市民ホール

# WEB上のプラットフォームの活用

## 概要

市ホームページにおいて本会議の概要や次回の会議の情報、脱炭素経営に係る情報共有及びアンケート等を行うことができるページを公開。

## ホームページの掲載内容

- ・ 会議の概要
- ・ セミナー開催
- ・ イベントへの出展
- ・ 脱炭素経営ネットワーク交流会
- ・ アンケートの回答



▲市HP「情報発信プラットフォーム」  
で検索